

## 内田洋行、学びのつまずきを知るアセスメントツール 「たつじんテスト」を教育用コンテンツ配信サービス「EduMall」で 提供開始

株式会社内田洋行(本社:東京都中央区、代表取締役社長:大久保昇、以下内田洋行)は、認知科学の視点から、子どもたちが問題を解けなかった思考過程を重視し、学びのつまずきの根本的な原因を探り、その結果を一人ひとりの子どもたちの指導に役立てるためのアセスメントツール「たつじんテスト」を6月1日より、教育用コンテンツ配信サービス「EduMall(エデュモール)」にて配信を開始いたします。

### 学習のつまずきの要因

知識の問題	推論と認知処理能力の問題	相対視点と認知的柔軟性の問題	読解力と推論力の問題	認知能力と知識の統合の問題
<b>原因1</b> 知識が断片的で、システムの一部になっていない  <b>原因2</b> 誤ったスキーマをもっている	<b>原因3</b> 推論が認知処理と噛み合っていない	<b>原因4</b> 相対的に物事を見ることができない	<b>原因5</b> 行間を埋められない  <b>原因6</b> 答えのモニタリングができない(ありえないこたえだということがわからない)	<b>原因7</b> 認知処理の負荷が重くなったときに、思考停止する

### 学習のつまずきの要因である7つの原因と5つのカテゴリ

※スキーマ:さまざまなモノやできごと、概念について人がもつ暗黙の知識。(「算数文章題が解けない子どもたち ことば・思考の力と学力不振」より:今井むつみ/楠見孝/杉村伸一郎/中石ゆうこ/永田良太/西川一二/渡部倫子 著)

## 学習で苦手意識を持つ子どもたちを支援するために

慶應義塾大学環境情報学部の今井むつみ教授(以下、今井教授)と広島県教育委員会は、「広島県学びの基盤に関する調査」(平成30年)の一環として、「たつじんテスト」を共同開発いたしました。

小学校の教育現場では、算数の学習のなかで、四則演算の単純な問題では正しい答えを回答するのに、文章問題になると計算が解けなくなる児童生徒に対して、従来のテストでは「計算ができない」という評価がされてきました。しかし、実際は前提となる「読解力」や「知識」に原因があり、そのような原因を理解し、指導に繋げることが重要視されています。特に小学校低学年の早い段階で支援することで、学習への苦手意識の解消に効果が期待できます。

内田洋行では、長年にわたって学校現場や特別支援教育に関する教材の開発をすすめ、2013年から今井むつみ先生とともに実際の学びのなかで知見を活かせるための活動を支援してまいりました。多くの学校に学びのつまずきを知るアセスメントを紹介するために、教育用コンテンツ配信サービス「EduMall」を使って提供を開始いたします。

「たつじんテスト」は、つまずきの部分を具体的に理解するための解説動画や、先生がアセスメントテストを実施しやすい進め方や解答類型、集計表等をライナップし、実際の教育現場での指導場面で使用しやすいパッケージです。

## 「たつじんテスト」EduMall 版の主な内容

たつじんテスト EduMall 版は以下の内容で、学習のつまずきの要因である7つの原因と5つのカテゴリの中で、どの分野につまずきが生じているのかを明らかにします。

学力が困難あるいは苦手意識をもつ児童生徒の関心を理解し支援する為のアセスメントツール

教科学力の基礎となる考えられる「言語・語彙」「数・形・量」「思考力、推論力」等に関する調査を行い、一般の学力調査では見取れない児童の関心を把握し、当該児童の支援に活かします。「たつじんテスト」は、いわゆる教科学力を測る調査ではありません。あくまで、その児童の学びの基礎についてどのような特徴があるのかを把握し、支援の在り方について先生方が検討する際の参考としていただくためのテストです。

**たつじんテストの構成**

- **ことばのたつじん**
  - ことばのたつじん1 一般的な語彙知識を測る
  - ことばのたつじん2 「前・後・右・左」などの空間のことばと3日前、10日後、2週間先など時間を表すことばを、状況によって柔軟に、目的、的確に適用できているかを見る
  - ことばのたつじん3 日常的な動作を表す動詞について子どもたちがシステム化された生きた知識をもっているかを見る
- **かず・かんがえるたつじん**
  - かず・かんがえるたつじん1 日常生活の中で数や量に触れることで身につけた概念理解を問う
  - かず・かんがえるたつじん2 図形をイメージする能力、すなわち心の中で折りたたんだり、展開したり、回転させたりする能力を測る
  - かず・かんがえるたつじん3 いわゆる「論理推論」といわれ、正解が必ず得られる演繹推論と、知識の一般化や創造にもっとも重要だと認知科学で考えられている類推能力を測る

### ① たつじんテスト(ことばのたつじん 60 問、かず・かんがえるたつじん 60 問)

「ことばのたつじん」と「かず・かんがえるたつじん」のテーマで全 120 問のアセスメントテスト問題を収録。児童生徒のつまずきの解答工程を確認する必要があるため、EduMall から紙で印刷し、配布してテストを実施していただきます。

### ② たつじんテストの全体概要から個々のテストの解説まで全 10 動画を収録

今井教授の紹介動画による解説を収録。テスト概念、ことばのたつじん、かず・かんがえるたつじんの各テスト解説、広島県・福山市での実施効果についてご説明いたします。

### ③ たつじんテスト実施要領 (PDF 形式)

対象学年、実施のタイミング、テスト実施時間、実施回数をまとめた実施要領を収録。

### ④ 採点支援ツール各種

#### ー 解答類型

ことばのたつじんには、正答ではないが似た言葉のカテゴリや一概に間違いでは無い回答について、先生が採点をしやすい「解答類型」をご用意しています。

#### ー たつじんテスト解説

今井教授の紹介動画による各問題の考え方、解答例からのつまずきの概要を詳細に解説。

#### ー 子どもたちのつまずきの分析を支援する「集計表」(EXCEL 形式)

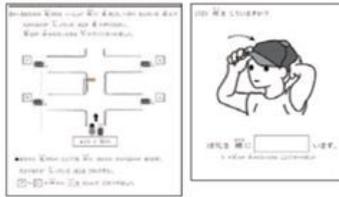
各問題の採点結果を集計表に入力を行うことで、たつじんテストの各細分化されたカテゴリ毎の採点値が記録され、子どものつまずきがどのカテゴリに属し、どの重さに該当するか等を数値で明らかにすることができます。また、学年単位で、どのカテゴリにつまずきの傾向が見えるか等がわかります。

■ 対象: 小学校

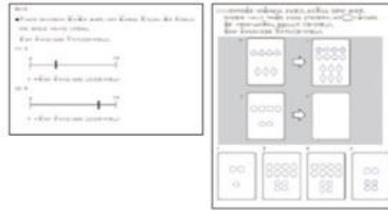
■ 販売目標: 令和 6 年度に 500 校への販売拡大を目指します。

■ 価格 学校ライセンス 年間 1 校 ¥12,000 (税別) ■ 対応 OS Windows/ChromeOS/iPadOS

ことばのたつじん



かず・かんがえるたつじん



●解説動画

監修・開発  
たつじんテスト研究開発  
チーム  
責任代表者  
慶應義塾大学  
教授 今井むつみ



●実施要領



●採点支援ツール

解答類型



たつじんテスト解説

集計表

今井むつみ先生について



慶應義塾大学 環境情報学部 教授

慶應義塾大学大学院社会学研究科に在学中、奨学金を得て渡米。1994年、米ノースウエスタン大学心理学部にて博士号取得(Ph.D)。2007年より現職。専門は認知科学、特に認知心理学、発達心理学、言語心理学が専門分野。幼児の言語や概念の発達、認知科学の立場から学びの仕組みを明らかにする研究を行い、米国心理学会(APA)論文賞、日本認知科学学会賞、日本心理学会国際賞奨励賞など受賞多数。米国認知科学学会(Cognitive Science Society)のフェロー(終身名誉会員)で、運営役員を務めるなど、世界的に活躍。広島県教育委員会からの依頼を受けて「たつじんテスト」の開発をするなど、公教育のフィールドでも精力的に活動している。近著に、「算数文章題が解けない子どもたち ことば・思考の力と学力不振」(岩波書店)がある。

EduMall(エデュモール)について

平成14年の総務省 EduMart 実証実験を経て得られた知見をもとに、内田洋行にて商用化したコンテンツ配信サービスです。35社から提供されるデジタル教科書やドリル、プリント教材など約1,400タイトルの中から、学校の要望に応じて選び、年間契約にて効率的に利用できるクラウドサービスで、教材の利用履歴の参照もできます。さらに、授業や学習ですぐに使える無償コンテンツも多数ご用意しています。

内田洋行では、教科書だけではカバーできない様々なジャンルのコンテンツを取り揃えることによって、「EduMall(エデュモール)」でサービスの付加価値向上を行っていきます。

「EduMall(エデュモール)」ウェブサイト(<http://www.edumall.jp/>)

※EduMall(エデュモール)は内田洋行の登録商標です。

【この商品のお問合せ先】

株式会社内田洋行 学びのコンテンツ&プロダクト企画部 吉田茂喜・谷口栄治

TEL. 03(5634)6638 FAX. 03(5634)6751

【このリリースのお問い合わせ先】

株式会社内田洋行 広報部 佐藤将一郎・深澤琴絵

TEL. 03(3555)4072 FAX. 03(3555)4620